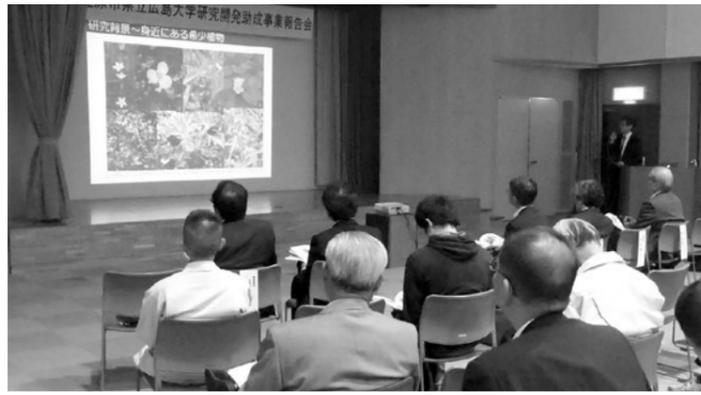


企画課

研究成果の活用を期待
庄原市県立広島大学研究開発助成事業報告会

市が助成し、県立広島大学が取り組んだ研究成果を発表する「県大助成事業報告会」を10月20日、庄原市ふれあいセンターで開催し、事業者や市民の皆さんなど80人を超える参加がありました。当日は、これまで進めてきた研究のうち、平成25年度で研究期間が満了したものの1件、平成25年度に採択された

2件の計3件について、各研究者が情報や結果を報告。超音波を使って害獣の侵入を防ぐ忌避装置の開発や、庄原市の環境を生かした生ハム製造と販売に向けた調査研究、ヒゴタイの保護増殖など、報告された成果やその活用方法をめぐって、活発な意見交換が行われました。今後、研究成果を地域に還元するため、事業化への取り組みが期待されます。



報告内容を熱心に傾聴する来場者

高福祉課

市長が長寿者を表敬訪問
100歳以上に敬老祝金を贈呈

木山耕三市長が10月9日から20日にかけて、市内の100歳以上の長寿者を訪問し、敬老祝金を渡しました。あわせて、9月15日の「老人の日」を基準日として、本年度中に満100歳を迎える方に贈られる内閣総理大臣からの祝い状と記念品を手渡しました。今年の敬老祝金贈呈対象者（大正4年3月31日以前に生まれた方）は65人、市内最高齢者は満105歳の女性の方となっています。



森永ハヤ子さん（本村町）に記念品を手渡す木山市長

生涯学習課

フットサルの基本技術を学ぶ
レベルアップスポーツ教室

レベルアップスポーツ教室フットサル教室を9月27日、かんぼの郷庄原フットサルコートで開催し、市内の小中学生25人が参加しました。広島県フットサル1部リーグで活躍するMFPSALSAの山上肇さんから3人を講師に迎え、参加者はフットサルの基本技術を学び、練習に取り組みました。その後4チームに分かれミニゲームを行い、爽やかな汗を流しました。



ミニゲームを楽しむ参加者

参加した沼田斗希哉くん（板橋小4年）は「試合をしたのが楽しかった。やさしく教えてもらえて上手になれたと思う。来年もぜひ参加したい」と声を弾ませていました。

市民生活課

いのちの大切さを考える機会を
男女共同参画啓発セミナー

男女それぞれの人権が尊重され、男性も女性も輝いて生きられる社会づくりを目的に、本年度から市民を対象に

した男女共同参画啓発セミナーを開催しています。10月9日、河野産婦人科クリニックの院長の河野美代子さんを講師に招き、「いのちの講演会」として開催しました。

まず、東城中学校の全校生徒を対象に「性と生を考える」と題して開催。河野さんは、がん患者の方から学んだ命の尊さ、女性は身ごもる性、男性は身ごもらせる性を持つていること、性について正しく学んで自覚することの大切さなどについて、映像も交えながら話し、生徒たちは集中して耳を傾けていました。

その後、庄原市ふれあいセンターに会場を移しての講演では、現役の産婦人科医として多くの患者さんと接している長年の経験とデータに基づく熱いこもった話に、参加した約70人は時折うなずいたり驚いたりしながら聞き入っていました。

参加者からは「これまで子どもと性について話す機会がなかったが、これからはきちんと話し合う時間を持ちたい」、「子どもの質問にはちゃんと答えていきたい」、「正しい知識を身に付け、賢い意識を持たなければと思った」といった感想が聞かれました。



河野さんの熱い話に聞き入る参加者（ふれあいセンター）



真剣に耳を傾ける生徒（東城中）

高野支所

みんなで楽しく介護予防
ノルディックウォーキング講習会

高野支所では介護予防を目的に、地域のサロンを対象にした「ノルディックウォーキング講習会」を実施しています。講師のノルディックウォーキング指導員の妹尾奏子さんが、ノルディックウォーキングがなぜ体にいいのか、毎日することによってどんな効果が現れるのかなど、時折ユーモアを交えて紹介し、その後実習を行います。

スポーツ。何歳になっても始められ、膝や腰の悪い方や家の中のリハビリ、介護にも使えます。知らない方も多いので自治振興区などへ広めていきたい」と話していました。

10月1日は、新市笑輪会（新市笑輪会）の50〜70代の女性7人が参加。ポールを持つと皆さん自然と背筋がすっと伸び、若返ります。歩きながら「こりや楽じゃねえ」おしゃべりしながらウォーキングを楽しみました。最後はポールを使って気持ちよく筋肉を伸ばす体操をして終了。

参加者の皆さんは「短い距離でも軽く汗ばんで血行も良くなり、これなら続けられそう」と話していました。妹尾さんは「ノルディックウォーキングは2本の杖を持って歩くだけの簡単な



妹尾さん（左）の指導のもと、みんな笑顔でウォーキング